



ポツンとではなく 一緒に道を歩もう

7月大教会教会長会議
立教185年7月22日
大教会長 片山幹太

本島通信

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
電話 0877-27-3321 (代)
本島通信編集室 R220725-0727-12
奈良県天理市指柳町270-1
本島詰所 〒632-0093
電話 0743-63-1571 (呼)
<https://www.honjima.com>
Email: webmaster@honjima.com
大教会 朝夕おつとめ時間
【6月1日～8月31日】
朝づとめ 午前6時00分
夕づとめ 午後7時00分

子供の頃、親から「こんなことして見たらどうや」「あんなことはどうや」と声をかけてもらった経験はありませんか。

私は父から「アメリカへ行かないか」「ピアノを習ってみないか」「サックスを吹かないか」「ゴルフをしてみないか」などと言われました。

渡米後、ピアノを何回か習ったことがあります。私は指が短く、全然上手く弾けなくて、しかも私の周りにはピアノのレッスンを受けている人が私以外にいなかったのです。先生に教えてもらう時間以外、ピアノを触ることもなく、結局何回かレッスンを受けましたがギブアップした経験があります。

ゴルフも教えてもらいました。当時アメリカでは午後2時以降は2ドルでプレーできるゴルフ場が近くにありましたので、時々そのような所へ連れて行ってもらいながら、ゴルフ

フを教えてもらったことがあります。実はこれは長続きしていません。

ゴルフも最初は嫌でした。ゴルフよりバスケットボールの方が楽しいと思っていたのです。でもゴルフは父も一緒に付きあってくれたのが大きかったと思います。青年さんも皆下手なのですが、一緒にやりました。悔しさを覚えたり、やっているうちに楽しさや、出来なかったことが出来るようになった喜び、感激を感じられるようになりました。

真柱様のメッセージに次のお言葉があります。

私達は、「道は末代」とお聞かせ頂いていますが、末代という言葉には、いつまでも続くという言葉の意味があります。そこから考えるならば、今日は、これまで続いた本島の道が、これからも続くために、どのような心で歩んでいくのかを思索し、今後の進み方を考え、確認し合う機会であると思います。

続かなかった私のピアノは、親からしろと言われながらなんとなくそれで終わったような気がします。先生を紹介してもらい、親の願いも感じていたのですが、やはり一人ぼつ

ちでしたし、皆でやっていくぞという雰囲気ではありませんでした。

逆にゴルフは父や周囲の青年さん達と一緒に楽しい時間が過ごせた。下手ながらも悔しさや、嬉しさや、いろんな感情も覚えて、これが続けられるきっかけだったのではないかと思います。

私たちの信仰も、この道が続いて行くためには、まず親がしっかり伝えていく。道を伸ばして太くしていく。大きな夢を語りながら、子ども一人でもポツンとやらせるのではなく、自らも一緒に、苦労も後々の楽しみにつなげられるように、心を離さず伝えていくことが大切だと思います。真柱様のお言葉を頂き、どうかお道が末代へ大きく広がるよう、子ども達や後へ続く者たちに、み教えを伝えて行きましょう。

もう一点、子ども達の中には来春、学校を卒業する人たちがいると思います。そろそろ卒業後の進路について考えている頃ではないでしょうか。来年から教祖140年祭に向かう三年千日の活動が始まります。その年祭活動をおちびで過ごすことはとても尊いことだと思えます。

おぢばの学校への進学、本部勤務、ひのきしん等、行く行かないは別として、選択肢の一つにぜひ入れて頂きたいと思います。

年祭活動の始まりをおぢばからスタートする。このことを心に置いて、進路について道の子弟と考えることは、おたすけにつながることだと思えますし、人を生涯かけて導いていく教会長夫妻の大切な役割だと思えます。

最後に、本年9月から11月まで、修養科一期講師のため大教会を留守にいたしますので、後のことはよろしく願います。ありがとうございます。

(文責・本島通信編集室)



既刊「道のとも8月号」特集「基礎講座を活用した丹精」にて、片山幹太大教会長様の手記が掲載されました。

【本島通信編集室】

本島大教会 神殿講話(要旨)

【立教185年7月22日】

一すじ心で、素直にお道を歩ませて頂こう

大教会役員

おおにし さとる
大西 知

日々はコロナウイルスの収束を願ひ、さらに世界平和を願ひ、お道の御用の上にお勤め下さいまして誠に苦勞さまでございます。

本島大教会創立120周年記念祭から2ヶ月が経過いたしました。

大教会長様は早くも次の目標に向かっての心構えについてお話し下さっています。私は記念祭の興奮と



喜びからまだ抜け出せていません。

このたび編纂された大教会の「ご参拝案内」は実によく出来ていると思ひました。記念祭だけでなく、今後のをいがけに活用させて頂きたいと思ひます。

そして記念祭準備ひのきしんに私は1週間参加させて頂きました。特に若い青年会員や女子青年を中心に、たくましく勇んだ働きを拝見して感動いたしました。

青年会ウィークン隊は、記念祭に向かって1年間に54名(のべ1025名)が参加されたと報告がありました。

そのほとんどが、大教会の少年会活動を通して育った皆さんだと聞いております。少年会活動はお道の明日を担う宝であると思ひました。

この夏、親里では「夏休み子どもひのきしん」が開催され、7月26日から8月28日まで受け入れが行われます。

本島大教会といたしましても、「夏のおぢばがえり」や、「本島団鼓笛隊夏季練習」が行われますので、ぜひご参加くださり、道の後継者育成を皆で勤めさせて頂きましよう。

さて本日は、「天理教教典第三章「元」の理」から私の悟りをお話させて頂きたいと思ひます。

どろ海中を見澄されると、沢山のどぎよの中に、うをとみとが混っている。夫婦の雛型にしようとして、先ずこれを引き寄せ、その一すじ心なるを見澄ました上、最初に産みおろす子数の年限が経つたなら、宿し込みのいんねんある元のやしきに連れ帰り、神として拝をさせようと約束し、承知をさせて貰ひ受けられた。

とあります。その中でも、「その一すじ心なるを見澄ました上」に注目したのであります。

「一すじ心」から人間創造の道具衆を引き寄せられたと教えられます。つまり「一すじ心」が陽気ぐらし世界

建設に必要な、とても大切な心の持ち方であるということだと思えます。「一すじ心」とは、混じり気のない、まっすぐな心、変わらない心、純粋な心のことです。それは、ずっと続く素直な心とも悟れます。

稿本天理教教祖伝逸話篇「三つの宝」では、教祖が「朝起き」「正直」「働き」と教えられ、飯降伊蔵先生は生涯この教えを守って通られたと記されています。

おさしづに、人間というものは、身の内かりも、八つのほこり、この理を分かりさいすれば、何も彼も分かる。そこで、たんのうという理を論してやれ。(補遺明治21・7・4)

とあります。甲賀大教会初代会長・山田太右衛門先生が、身の悩みにつき伺ったおさしづです。

山田先生は無学でありましたが、生涯このおさしづを守り切られ、人様にはこのおさしづを繰り返し諭されて、変わらぬ一すじ心だったと伝えられています。

私が26歳のとき、教会長資格検定講習を受講したときのことです。

同じクラスに66歳のご老人がいらっしやいました。27年間、毎日お

びに日参されているとのことでした。講習は3度目のことですが、検定は不合格となりました。答案用紙が白紙なのです。そのご老人は字が書けないのでした。

ところが不合格になってもニコニコとして、担任の先生に「お世話になりました。ありがとうございます」と深々と頭を下げてお礼を言っておられました。

その方の入信の動機は、農作業中に足をケガされ、教会の日参を始めるところ御守護を頂かれ、次に娘さんの結婚のまとまりを願っておぢばへ日参されるようになり、その後も次々と御守護を頂かれ、家族全員ようぼくにして頂いて今日に至っているとのこと「ありがたいことです」とお話し下さいました。

おたすけ頂いた元一日のご恩を忘れず日参に励まれる心の力強さ、まっすぐな心、変わらない心、純粋な心、ずっと続く素直な心に「一すじ心」を感じました。

私自身の経験を申せば、肺がんにより余命3ヶ月と診断された方のおたすけに勤めさせて頂いたことがあります。

その方の奥様よりお話を伺い、す

ぐ入院されているご主人のもとへまいました。ところが宗教をまったく受け付けてくれません。

「そんなもの信じられない。私はこれで人生終わりならそれで結構。あなたが私の病気を治すことが出来るぐらい偉い人なら、私よりもっと役に立つ人の為に祈ってあげなさい。」と言われます。

「私は偉くも何もありませんし何の力もありませんが、私たちが信じる親神様は人間を創られた神様であると教えられます。人間を創られた神様だからこそ、壊れたとき治してくださいださることが出来るのです。これから毎日通いますので、親神様にお願ひさせてください」と申しましたところ「別にどうでもいいけど、好きにしなさい」とのお返事でした。

それから三ヶ月間、毎日通っておさづけのお取り次ぎをさせて頂きました。ご主人にお話しは何も聞いて頂けず、おさづけを取り次いでは帰るだけでした。そして医師の宣告通り3ヶ月経った頃、危篤となり、遂にお出直しになりました。

出直される3日前に、そのご主人は私に「ありがとう」と言って下さいました。そしてその夜、奥様からお

電話を頂きました。「今主人から言われたのですが、毎日通って来られるのにガソリン代が大変でしょう。たいしたことは出来ませんがガソリン代と、神様へのお礼をしてください。あのお分のことしか考えない主人が、天理教を否定せずお祈りを受けたこと、そして神様に御礼をしてくれと言ったこと信じられます。ありがとうございます」と仰って下さいました。

出直されたご主人の御霊様は、教会の祖霊殿に合祀させて頂きました。たった3ヶ月間のおたすけでしたが、こちら側が一すじ心で勤めさせて頂くなら、人の心が素直に動くことを学びました。

みかぐらうたに、むりなねがひはしてくれなひとすぢごころになりてこい

(みかぐらうた三下り目)

とあります。

このおつたは、人間が願う御守護と神様が守護して下さるところの違いを教えてください。

人間は、難儀不自由をたすけて下さい。つまり今より楽になりたいことを御守護として願ひするものです。その中には無理な願ひがあるの

ではないでしょうか。

親神様は心通りの守護を下されると教えられます。つまり親神様の御教えに沿った心遣い、真実の種を伏せ込むところ、心通りの御守護を見せて頂けるのですから、教えの理に心を沿わせようとせず、真実の理作りもせずにお願いはかりするのは、無理な願いになるのではないのでしょうか。

おふでさきに、
どのよかな事がありてもつらみなよ
みなめゑくにしてをいたのや

(第十七号)

私たちが人間は、ほこりの心を使い、親神様がお嫌いなうそについて、口に出しながら、そのことは棚に上げて、成ってきたことに対して誰かのせいにして、さらに腹立ちの心を使ったりしていないでしょうか。

私自身心当たりがあり、情けないことだと思いますが、その中でも朝夕のおつとめでさんげさせて頂き、日々のご守護にお礼を申し上げることが出来るのはとても嬉しく思います。

成って来ることは、どのようなことであれ、陽気ぐらしへと導かれる親神様のお働きであると悟り、素直な心で教えの理を守り、努めさせて

頂きたいと思えます。

次に、
なんでもこれからひとすぢにかみにたれてゆきます

(みかぐらうた三下り目)

とあります。

ここでも「ひとすぢ」とは、脇目もふらず真つ直ぐに、素直に成って来ることを受け止めて、その中に喜びを見出し、陽気ぐらしに向かつて歩ませて頂きます。との人間の決意、心定めであると思えます。

本島大教会に繋がる私たちも、この「一すぢ心」をキーワードに、陽気ぐらし世界建設に向かつて、勤めさせて頂くではありませんか。

最後に先人より教えられ、私の心の指針となっているお話をさせていただきます。

「徳のない者はすぐに損得、思い付きで自分勝手な判断をする。そして暗闇に入っていくのや。しかし有難いな、私たちは。親のお徳、親の理を頂いたらええのや。親々の理の御用を頂いたらええのや。成人とは親々の理の御用を通してこそ果たされる。」

ご清聴ありがとうございました。

(文責・本島通信編集室)

* 夏休み子どもひのきしん 親里での受け入れMAP *

開催期間：7月26日～8月28日

行事参加の予約や事前申込みはございません。
お茶接待はございませんので、熱中症予防対策として、各自水筒などを持参し、こまめに水分を補給しましょう。
お車でお帰りの際は、神殿周辺の駐車場をご確認の上、ご利用ください。

お問い合わせ

- ひのきしんセンター 63-2618 (内線) 4125
- 南右第二棟 (内線) 4035
- 少年会本部 63-1954 (内線) 5750

南右第二棟

【時間】9:30～16:00 閉館まで
※26日は13:00～

4F 姉のこまステージ
【時間】14:30～15:30 (7月26日、土日開催)
※出演団体数によって、開始時間が異なります。

1F 姉の子作品展 (※8月31日まで)

B1 ほんわかシアター
【上映開始時間】
10:00、11:00、13:00、14:00、15:00
※上映開始時間は前後する場合があります。
【所要時間】20分

B2 ビッキーとリボンの宇宙探検

ひのきしんセンター

【受付時間】9:00～16:00
※26日は13:00～

神殿

【時間】11:00～13:00
※7月27～31日、8月の土日のみ
※ゴミは各自でお持ち帰り下さい。

休憩所

【時間】11:00～13:00
※7月27～31日、8月の土日のみ
※ゴミは各自でお持ち帰り下さい。

救護所

【時間】9:30～16:00

特別企画
鼓笛お供演奏・オンパレード
※土日の2回開催

鼓笛お供演奏
朝の部：9時30分
夕方の部：16時00分
鼓笛オンパレード
10時00分

おやざと謎解きウォーク in 参考館

【受付時間】9:30～15:30
真南棟吹き抜け西側にある「探偵事務所」で受付をしてから参考館に行つてね！
※【休館日】8月8日、9日、13～17日、23日、28日
※26日は13:00～

夏休み子どもひのきしんのマップだよ！

※詳細は、公式LINEのQRコードを読み取り、記載している最新情報をご覧ください。



七月月次祭 祭典役割

七月月次祭祭文

立教百八十五年七月二十二日

献饗長 西山道教
伝供 岩橋竜造・篠原丕王・永山晴明・吉田晴雄・永島宗行・後藤正治・雲庵春彦・片山直明・吉田知彦・高島栄造・長濱充憲・岩橋守行・長尾海和・白垣初生・寺本邦一・岩橋秀一・宮路和徳・山下英久・須崎晴道・上山康雄

滑川善久・村田輝夫・時久英次・川村吉夫・木村太喜・溝口晋太郎・屋敷ゲリー・肥後章

雅楽奉仕者 文岡育則・池田恒治・上山薫・伊東賢太郎・鎌田康典・吉田貴慶・佐々木徳太郎・白垣俊生(順不同)

祭主 指図方	大教会長 片山勲	老木邦光 岡崎八十則	伊東康成 高垣光治
	座りづとめ	てをどり前半	てをどり後半
地方	大教会長 高島清弘 牧野道昭 會長夫人 片山やすゑ 長尾澄子	西山道教 永山晴明 長濱充憲 池田さわみ 岩橋元実 岡崎むつゑ	片山直明 岩橋守行 川村吉夫 梅木澄代 菅岡和美 長尾善絵
てをどり	岩橋竜造 雲庵道延 窪田靖明 吉田晴雄 井上哲 寺本教生 井上みつの 片山榮 向所暉美子	雲庵春彦 宮路和徳 永島宗行 高垣光治 寺本邦一 後藤正治 片山眞喜代 岡崎宏子 高垣洋子	吉田知彦 大西剛 位下道治 肥後章 屋敷ゲリー 岩橋秀一 片山美穂 原口和子 岩橋貴子
神殿講話	大西知		

この神床にお鎮まり下さいます親神天理玉命の御前に、天理教本島大教会長片山幹太慎んで申し上げます

親神様には一れつ子供の成人をお望み下さる深い親心のまにまに、日夜絶え間なく御守護下さり旬に臨み時に応じてだんだんのお仕込みを賜り幾重の道すがらも恙なくお連れ通り下さいます御慈愛の程は誠に有難く勿体ない限りでございます

私共は届かぬながらもたすけ一条の御用の上にご日々勇んでつとめさせて頂いておりますが、その中にも今日の吉き日は当大教会の七月の月次祭を執り行う日柄にあたりますので、只今からおつとめ奉仕者一同心を一つに合せて座りづとめ・てをどりを陽気に勇んで勤めさせて頂きます

御前には折からの暑さもとわず本島大教会につながらる教会長を始め、よふぼく信者一同が今日を楽しみに帰り集い日頃の御厚恩に御礼申し上げ尚も尽きせぬ御守護にお継りする真実の状をもご覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

尚この月は、おぢばでは昨年に続いて「夏休みこどもひのきしん」を提唱し七月二十六日から八月二十八日にかけて親里各所で伏せ込み・楽しみ行事が実施されます。加えて八月一日、二日の両日は「本島学生会サマーフェス」を本島詰所で開催させて頂き、次代を担う学生達が親睦を深めながら後輩達が使用した詰所内の清掃ひのきしんに勇んでくれることと思ひます。また八月八日から十二日にかけて「学生生徒修養会高校の部」が三年ぶりに開催されます

少年会員、道の学生を問わず今日の時旬におぢばで学びお育て頂く上からも教会長自ら先頭に立って将来のそれぞれの教会活動を担う人材の育成を念頭に積極的な声掛けと丹精に努めさせて頂く所存でございます

尚来る八月二十一日には大教会に於いて本年の「少年会本島団総会と夏のつどい」を開催させて頂きます

この総会には少年会長様の御告辞を賜るに当たり育成会員たる私共は自らの心を親の思召に添い地道に親心にしつかりとお応えさせて頂く決意でございます

暑さ厳しい最中、怪我過ちなく喜びと感謝の心いっぱいにお連れ通り下さり、お望み下さる世界たすけの御用にお使い頂けるようお育てお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

(原文のまま)

入社祭 (立教185年7月22日)

▲崇徳△高垣麻衣子△高垣恵祐△高垣祐希 【計3名】

7月22日(金)

【香川県丸亀市】

天候 晴一時曇
 最低気温 24.7℃
 最高気温 31.0℃
 平均気圧 1002.9 hPa
 平均湿度 70%
 平均風速 4.6 m/s
 日照時間 6.2 時間
 降水量 0.0 mm

すき間のおはなし

筆者は本島通信編集の合間に、気分転換も兼ねてカメラをもってよく出かけています。本号では紙面に大きな隙間ができてしまいましたので、そのお話を少しご紹介させて頂きます。

飛火野とびのは、春日大社表参道と循環バス通りの交差点から東南に面した広大な芝生の原です。若草山・春日山(御蓋山)・高円山といった山々が一望でき、鹿が常に群れ遊んでいます。いにしえの時代から現在のような美しい芝生が広がっていた飛火野は、奈良時代・平安時代の貴族たちの和歌などにも頻りに登場し、昔も今も奈良を愛する人々の憧れとくつろぎの場所となっています。



7月下旬、奈良市内は日中36℃の猛暑を記録した日の夕方、この飛火野へ出かけてきました。今年生まれた子鹿と、大和の夕焼けを見たいと思っただけです。

平日の午後6時過ぎ、飛火野に着くと、さながら大海原のようにうねる芝生の向こうに、鹿の群れが静かに草を食べていました。観光客は私一人でした。

県庁やターミナル駅からわずか1キロ程度の場所で、人工物がほとんど視界に入らない圧倒的な自然を味わうことが出来るスポットは、全国的にも唯一と言ってもいいでしょう。

そこを独り占めできる贅沢さ、心を躍らせながら、夢中になってシャッターを押しました。太陽はすでに西の木々に隠れ、青空の上にある巻雲が丹色に染まり始めていました。

野生の鹿は季節によって様々な姿を見せてくれます。

「春鹿」は奈良の地酒の名称にもありますが、実際のところ春の鹿は、まだらに色褪せて醜くなります。子を宿した鹿は孕鹿といい、やつれてものうげで、動作も鈍く大儀そうです。

そして5月から6月にかけて出産します。今年の奈良公園では、7月上旬まで23頭の子鹿が誕生したとの報道がありました。

まさに7月は、生後ひと月足らずの子鹿が、群れの中で遊んでい



る風景に出会えるのです。親鹿のあとについて甘えるように歩いている子鹿は可愛いものです。

奈良公園の野生鹿は人間慣れしていて、私がそばを歩いていても気に留めません。無心になって草を食んでいるか、遠くの夕焼けをポーツと眺めているかです。

その中で1頭、私をじっと見つめてくれる子鹿がいました。

私は引き込まれるようにレンズを向けて、シャッターを押ししました。そして少しずつ、20センチずつ間合いを詰めながら、シャッターを押し続けました。子鹿は変わらず真っ直ぐこちらを見つめています。

好奇心、親しみ、素直、無邪気。わずか60秒ほどでしたが、私と子鹿の間には非言語的な交流が生ま



れたように感じました。

10メートルほど離れた場所に母親らしき穏やかな鹿がいました。それから子鹿はその親鹿へ歩み寄りしましたが、その脚は細く、華奢で、生まれたばかりの赤ちゃん鹿だったことに気づきました。

人間の慌ただしい日常生活の一方で、同じ時間、野生鹿の親子がそこに生活していることが、とても不思議に感じました。

飛火野からバス通りをはさんだ西側に浮見堂があります。鷺池に浮かぶ檜皮葺きの六角堂です。夕焼けを映す池の水面を通り抜ける風がとても心地よかったです。

すき間をうめるお話はここまで。また編集の上で紙面にすき間ができましたら、ご紹介したいと思います。(むかいじよ)



事情はいづ

パシフィックコースト教会
神殿屋根葺替願
臨時祭典願

鎮座祭 立教185年8月12日
奉告祭 立教185年8月13日
ハリウッド教会

神殿屋根葺替願
臨時祭典願

鎮座祭 立教185年8月14日
奉告祭 立教185年8月15日
以上

おどげけの理拝戴

(立教185年6月分)

同朋 梅木和幸
本水島 山口嘉名子
赤峰 宇野竜太郎
別峰 坂口宏則
新信峰 中藪小有合

【計5名】

おどげけお取り次ぎ報告

(立教185年7月22日)

提出教会 18教会
報告数 914回
本年累計 8,517回

教人登録

(立教185年7月1日付)

都峰 内野雄一朗

【計1名】

をびや許し

(立教185年6月分)

本島 大野原友香
本京 牧野久美
赤峰 向所未奈
實峰 徳永牧子
鶴峰 吉田めぐみ

【計5名】

少年会隊長任命

(立教185年6月付)

崇徳 高垣あゆみ

【計1件】

ろくぢち会

(立教185年6月分)

▼本島△片山幹太・片山かおり・香葉子・幹太郎・好次・昇太△片山秀明△長尾真実・幸太△藤山さちよ
▼樺太△分教会
▼撮泉△分教会
▼崇徳△分教会
▼本高△分教会
▼本勇△井上あすか
▼ポートランド△片山和信・陽子・昇慶・竜次
ご芳志に厚くお礼申し上げます

大教会長動向

▼8月(予定)▲

1日～18日、海外巡教
5日～6日、マリーナ教会

鎮座奉告祭執行
7日、ハリウッド教会

遷座祭執行
12日～13日、パシフィックコースト教会

鎮座奉告祭執行
14日～15日、ハリウッド教会

鎮座奉告祭執行
21日、少年会本島団総会

大教会月次祭執行
22日、大教会月次祭執行

修養科門出まなび
24日、修養科門出まなび

かなめ会委員会
25日、かなめ会委員会

本部月次祭参拝
26日、本部月次祭参拝

かなめ会
27日、かなめ会

教会長夫妻特別講習会

にをいがけ名簿提出教会 (7月)					
本島	0	本千代	6	豪峰	52
本室	2	本備前	5	倉峰	10
本谷	50	本府中	3	東峰	10
本々木	14	本崇徳	6	霊峰	6
本代々	4	本宣道	1	實峰	33
本萬代	66	本新田	3	仙峰	45
本本都	10	本赤	9		
本京	10				
計 20 教会		215 名			

帰ってきたウィーケン隊

青年会本島分会(片山秀明委員長)では、7月16日から18日の3連休を利用して「帰ってきたウィーケン隊」を実施。18名が参加しました。講堂ステージ横にある通称



納骨堂倉庫の整理、墓地掃除、境内地草刈りの他、雅楽と和太鼓の稽古を行いました。

夏のおぢばがえり始まる

少年会「夏休みこどもひのきしん」が7月26日より親里でスタート。本島団鼓笛隊夏季特別合同練習会は本島詰所を会場に27日に始まり、初日は約15名の隊員が集結しました。コロナ第7波により参加できない隊員が増える中、感染防止に万全を期しながら、7月31日の最終日まで約60名の参加を見込んでいます。



統計 (6月1日～30日)

教会名	初席	中席	表ひ座	修養科	教人講習	検定講習
同朋			1			
本水島			1	1		
赤峰	1	1	1	1		
吉峰	1					
倉峰		1				
大駿	1					
別峰			1			
吉松				1	1	
新信				1	2	
鶴峰						
マリナ	1					
合計	4	3	5	4	1	0



全教一斉にをいがけデー

【教会本部】

- 期日：9月28日(水)、29日(木)、30日(金)
- 教会長は必ず参加いたします。なお、これまでの教会長路傍講演は各教区ごとのご判断となります。

学生層育成者講習会

【本島学生担当委員会】

- 日時：8月22日祭典終了後、神殿講話として
- 講師：松山勇一先生(本部准員)

総会と夏のつどい

【少年会本島団】

立教185年少年会本島団総会と夏のつどい

- 期日：8月21日(日)午前10時受付～午後8時半解散
- 会場：本島大教会
- 対象：少年会員(未就学の少年会員には引率者の付き添いをお願いします)
- 参加御供：なし
- 携行品：ハッピー(準備できる人だけで結構です)、白靴下、マスク、水着、ビーチサンダル、帽子、着替え、タオル、洗面具、保険証
- 内容：お願いづとめ、よろづよ八首総立ち、総会、記念撮影、海水浴、本島ナイト
- 諸注意：発熱、体調不良の場合は参加をご遠慮ください。プログラム途中までの参加でも可能です。宿泊はそれぞれの部屋をお願いします。引率者の中で可能な方は海水浴の監視をお願いします。

<https://www.honjima.com/>

本島大教会ウェブサイト

みちのだいおはなし会

【婦人会本部】

- 日時：8月26日(金)午後1時～2時
- 会場：本部第二食堂
- 講師：金山澄明先生(天理教校学園高校ひとすじ寮寮長)
- お話テーマ：「ありがとう・感謝」

修養科女子教養掛について

【婦人会本島支部】

- 修養科女子教養掛は年間36人体制で勤めさせて頂いております。
- 来年から「希望調査票」は直轄単立教会は1教会につき1名ずつ、またご部内をお持ちの教会は自教会を入れて4～5教会につき1名ずつの提出をお願いすることになりました。
- 就きましては、来年(立教186年)女子教養掛「希望調査票」を、9月22日までお知らせ下さるようお願いいたします。
- なお、教養掛は「希望調査票」に基づいて編成いたしますが、希望調査票の未提出教会にはこちらからお問合せいたしますのでご承知おき下さい。

〈諸説明〉

- ◆ 女子教養掛の期間は毎月、①5日～15日、②15日～25日、③25日～翌月5日となります。
- ◆ いずれの期間も、本島詰所集合です。初日朝づとめより始まり、最終日夕づとめまでお勤め頂きます。(初日と最終日は前任者または後任者との引継ぎとなります)
- ◆ 幼児を連れてでも可能ですので、ご相談下さい。
- ◆ 当番表は各所属教会の祭典日を外して決めさせて頂きますが、特に希望する期間(または支障のある期間)がありましたらお知らせください。なおご希望に添えないこともありますのでご了承ください。
- ◆ お問合せは修養科世話係(原口和子 080-4312-6924)まで願います。
- ◆ 提出先：片山かおり支部長(大教会 FAX 0877-27-3323、大教会へ郵送も可)
- ◆ 提出締切：9月22日

8月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈大教会・炊事ひのきしん〉

- 期間：8月21日～22日
- 派遣教会：崇徳①

〈詰所・食堂ひのきしん〉

- 期間：8月25日～26日
- 派遣教会：本岡崎①、安藝本中①、阿波本徳①

大教会8月月次祭ライブ中継

【本島通信編集室】

- 対象：8月22日大教会8月月次祭に参拝できないため、ライブ中継視聴を希望する方
- 申込方法：メールで、live@honjima.comに「ライブ希望」と「教会名・氏名」を記入してお申し込みください。当日朝ライブ視聴できるアドレスをメールでお知らせします。
- 申込締切：8月21日午後5時まで
- ご注意：ライブ中継は毎月のお申し込みとなります。



少年会隊長変更

【少年会本島団】

- 各教会の少年会隊長(中学3年以下)の年齢が超過している教会には、隊長変更届をお渡しますので、新しい隊長を決めて大教会へお届け下さい。



大教会参道のアベリア